

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

AC100V埋込リモコン

アプリコットFシリーズ：TCF4721V81・4520EV81・4521EV81
TCF4420EV81・4421EV81
TCF4320V81・4321V81

アプリコットNシリーズ：TCF4120V81・4121V81

S2・S1シリーズ：TCF6321EV81・6331EV81
TCF6131RV81・6131V81

ネオレストDH・Dシリーズ：CES9564T70・TCF9564V70
CES9563RT70・TCF9563RV70他



上記特殊品番以外の機種でも、左記リモコンを使用している製品はこの資料を参照ください。

(TCF4110*・4111*・4120*・4121*・4311*・4320*・4321*・

TCF4420E・4421E・4520E・4521E・4711・4731・4831・

TCF6121*・6131*・6321E*・6331E・

TCF (CES) 9563R*・TCF (CES) 9564他)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ 特 1 イ プ 1)	(タ 特 2 イ プ 2)	正 規 品	(タ 特 1 イ プ 1)	(タ 特 2 イ プ 2)
(タ 特 3 イ プ 3)	(タ 特 4 イ プ 4)	(タ 特 5 イ プ 5)	(タ 特 3 イ プ 3)	(タ 特 4 イ プ 4)	(タ 特 5 イ プ 5)

なお、ウォシュレット一体形タイプ及びウォシュレットシートタイプの全ての組合せ(らくらくリモコン含む)において連立・対面トイレ混在設置の場合にも相互干渉防止のため、上記のように配置を行ってください。

3. 連立トイレ対応方法

<<本体側の設定方法>>

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、TOTOメンテナンスへご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順 リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

作業の前に...

特殊モード設定作業はベースプレートからウォシュレットを取り外しても作業ができます。狭いトイレなどの場合は、ベースプレートからウォシュレットを取り外しての作業をお勧めします。

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順 1

本体操作部の **運転 入/切** を手順3まで押し続ける。

10秒後に本体の全表示ランプが2秒間点灯します。

ランプ表示部

この間2秒	運転	便座	脱臭	節電	センサー
	●	●	●	●	●
	●	●	●	●	●
	●	●	●	●	●

ランプが点滅(緑色)したら最初からやり直してください <<下図は例です>>

本体操作部

運転 入/切 ビデ 入/切 おしり 入/切

手順3まで押したまま

手順 2

運転 入/切 を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)すると、**すぐに** **ビデ 入/切** を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

※途中で失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。

手順 3

運転 入/切 を押したまま、**おしり 入/切** スイッチを押す。

おしり 入/切 を押す度に標準→特1→特2...

特9→標準と設定が切り替わります。

本体表示部

●...緑点灯 ×...消灯

設定	運転	便座	脱臭	節電	センサー	設定	運転	便座	脱臭	節電	センサー
標準	●	●	●	×	×	特5	×	×	●	×	×
特1	×	●	●	×	×	特6	●	×	×	×	×
特2	●	●	×	×	×	特7	●	●	●	●	×
特3	×	●	×	×	×	特8	×	●	●	●	×
特4	●	×	●	×	×	特9	●	●	×	●	×

手順 4

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

運転 入/切 から手を離れた時点で設定したコードになります。


手順 5

コードラベル

ウォシュレット本体の背面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)	
4	<p>運転 入/切</p>	<p>から手を離した時点で設定したコードになります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。</p> </div>
5	 <p style="text-align: center;">コードラベル</p>	<p>ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p>

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

3. 連立トイレ対応方法

対象機種:TCF4311* TCF4320* TCF4321*
TCF4421E* TCF4420E* TCF4521E* TCF4520E*

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、TOTOメンテナンスへご依頼下さい。(有償)
※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

《<<本体側の設定方法》>>

手順 リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

作業の前に…
特殊モード設定作業はベースプレートからウォシュレットを取り外しても作業ができます。狭いトイレなどの場合は、ベースプレートからウォシュレットを取り外しての作業をお勧めします。

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順 1
本体操作部の **運転** 入/切 を手順3まで押し続ける。
10秒後に本体の全表示ランプが5秒間点灯します。

本体操作部
運転 ビデ おしり
入/切 入/切 入/切

手順3まで押したまま

ランプ表示部
この間5秒

《<<下図は例です>>
ランプが点滅(緑色)したら最初からやり直してください

手順 2
運転 入/切 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)すると、すぐに **ビデ** 入/切 を5秒以上押す。
5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

※途中で失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。

手順 3
運転 入/切 を押したまま、おしり 入/切 スイッチを押す。
おしり 入/切 を押す度に標準→特1→特2…
特9→標準と設定が切り替わります。

本体表示部
●…緑点灯 ▲…橙点灯 ×…消灯

設定	運転	便座	節電	設定	運転	便座	節電
標準	●	●	●	特5	×	●	×
特1	×	●	●	特6	●	×	×
特2	●	×	●	特7	●	●	▲
特3	×	×	●	特8	×	●	▲
特4	●	●	×	特9	●	×	▲

手順 4
※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。
運転 入/切 から手を離れた時点で設定したコードになります。

手順 5
ウォシュレット本体の背面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

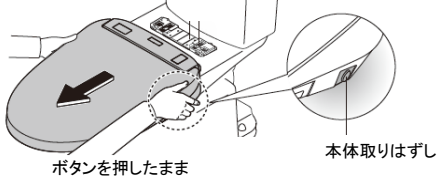
3. 連立トイレ対応方法

<<本体側の設定方法>>

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、TOTOメンテナンスへご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

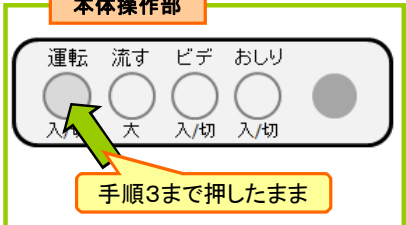
作業の前に...
 特殊モード設定作業はベースプレートからウォシュレットを取り外しても作業ができます。狭いトイレなどの場合は、ベースプレートからウォシュレットを取り外しての作業をお勧めします。



ボタンを押したまま 本体取りはずし

手順 1
 ※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。
 本体操作部の **運転** を手順3まで押し続ける。
 10秒後に本体の全表示ランプが5秒間点灯します。

本体操作部



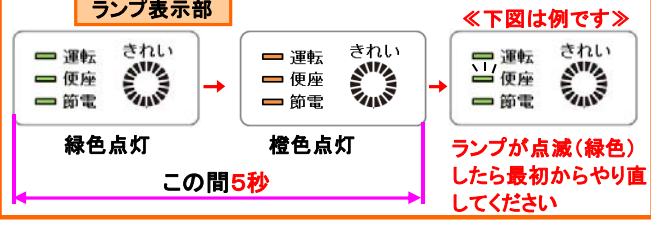
手順3まで押したまま

ランプ表示部


この間5秒

ラングが点滅(緑色)したら最初からやり直してください

※下図は例です



手順 2
運転 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)すると、**すぐに** **ビデ** を5秒以上押す。
 5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

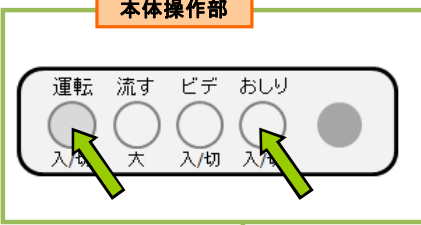


手順 3
 ※途中で失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。
運転 を押したまま、**おしり** スイッチを押す。
おしり を押す度に標準→特1→特2...
 特9→標準と設定が切り替わります。

本体表示部

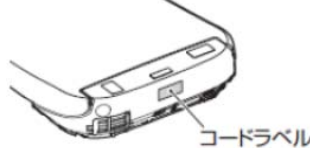
●...緑点灯 ▲...橙点灯 ×...消灯

設定	運転	便座	節電	設定	運転	便座	節電
標準	●	●	●	特5	×	●	×
特1	×	●	●	特6	●	×	×
特2	●	×	●	特7	●	●	▲
特3	×	×	●	特8	×	●	▲
特4	●	●	×	特9	●	×	▲



手順 4
 ※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。
運転 から手を離れた時点で設定したコードになります。

手順 5
 ウォシュレット本体の背面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。



コードラベル

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

3. 連立トイレ対応方法

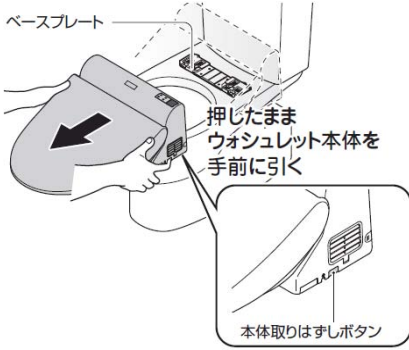
<<本体側の設定方法>>

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

作業の前に…

特殊モード設定作業はベースプレートからウォシュレットを取り外しても作業ができます。狭いトイレなどの場合は、ベースプレートからウォシュレットを取り外しての作業をお勧めします。



※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

本体操作部の **運転** を10秒以上押し続ける

10秒後に全てのランプが**5秒間点灯**します。

本体表示部

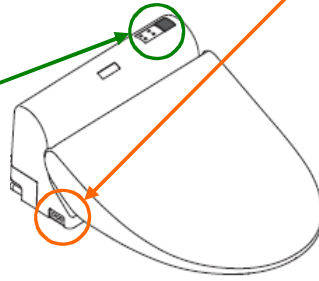
■ 運転 ■ 便座 ■ 温水 ■ 節電 緑色点灯	■ 運転 ■ 便座 ■ 温水 ■ 節電 温水・便座 →緑色点灯 運転・節電→橙点灯	<<下図は例です>> □ 運転 □ 便座 □ 温水 ■ 節電 ランプが全点灯から点滅または点滅になったら、最初からやり直してください。
--------------------------------	---	--

この間**5秒**

本体操作部

運転 ビデ おしり
入/入/入/切 入/切

手順3まで押したまま



2

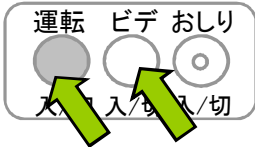
運転 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)

すると、**すぐに** ビデ を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

本体操作部

運転 ビデ おしり
入/入/入/切 入/切



3

※失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。

運転 を押したまま、おしり を押す。

おしり を押すたびに標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。

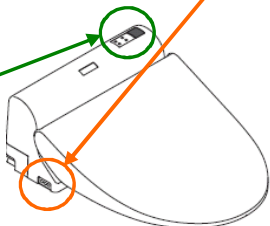
本体表示部

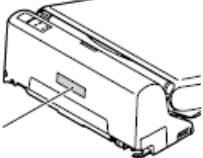
●…点灯 ×…消灯

	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
運転	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×
便座	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×
温水	●	●	×	×	●	●	×	×	×	●
節電(タイマー・おまかせ)	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●

本体操作部

運転 ビデ おしり
入/入/入/切 入/切



手順	リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)
4	<p>● 運転 から手を離れた時点で設定したコードになります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"><p>※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。</p></div>
5	<p>ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"><p>コードラベル</p></div>

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

3. 連立トイレ対応方法

<<本体側の設定方法>>

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

手順

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

1

本体操作部の を10秒以上押し続ける

⇒10秒後に全てのランプが**2秒間**点灯します。

本体操作部

● 運転 ● 便座 ● 脱臭 ● 節電	緑色全点灯	この間 2秒
● 運転 ● 便座 ● 脱臭 ● 節電	節電→橙色点灯 その他→緑点灯	
○ 運転 ○ 便座 ○ 脱臭 ○ 節電	ランプが点滅したらやり直してください。	

※下図は例です

本体操作部

運転 流す ビデ おしり
入/切 大 入/切 入/切

2

運転 を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)すると、

すぐに **ビデ** を5秒以上押す。

運転 流す ビデ おしり
入/切 大 入/切 入/切

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

3

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

運転 を押したまま、おしり を押す。

おしり を押す度に標準→特1→特2…特9→標準

と設定が切り替わります。

本体表示部

◎…点灯 ×…消灯

LED種別	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
節電(タイマー・おまかせ)	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	◎
脱臭	◎	◎	×	×	◎	◎	×	◎	◎	×
便座	◎	◎	◎	◎	×	×	×	◎	◎	◎
運転	◎	×	◎	×	◎	×	◎	◎	×	◎

運転 流す ビデ おしり
入/切 大 入/切 入/切

4

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

運転 から手を離れた時点で設定したコードになる。

5

ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

＜＜本体側の設定方法＞＞

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

◆途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順

1

本体操作部の を10秒以上押し続ける

⇒10秒後に全てのランプが**5秒間**点灯します。

本体表示部

● 運転
● 便座
● 節電

緑色点灯

● 運転
● 便座
● 節電

橙色点灯

この間**5秒**

本体操作部

※下図は例です

● 運転
□ 便座
□ 節電

ランプが点滅(緑色)したら最初からやり直してください。

2

運転 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)しているうちに、

すぐに を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

3

◆途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

運転 を押したまま、おしり を押す。

おしり を押す度に標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。

本体表示部

●…緑点灯 ▲…橙点灯 ×…消灯

設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
運転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●
便座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×
節電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲

本体操作部

4

◆手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。




運転 から手を離れた時点で設定したコードになる。



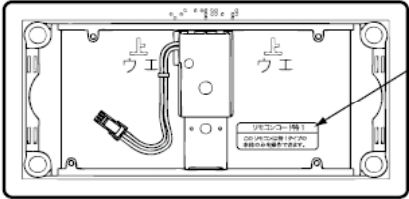
5

ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																																			
1	<p>同時に10秒以上押す</p>  <p>約10秒後に特殊(設定)モードになり、水勢ランプが下記のようにになります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>スイッチを押し続けると、約10秒後に水勢ランプが全点灯します。</p> </div> ➔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>スイッチから手を離すと、水勢ランプが全点滅します。</p> </div>	<p>リモコンの『止』スイッチと『おしり』スイッチを同時に10秒以上押す</p> <p>⇒特殊(設定)モードになり、水勢ランプが全点灯します。 全点灯したら、スイッチから手を離して手順2の操作を行ってください。</p>																																																																		
2	<p>5秒以上押す</p>  <p>全点滅中 (2秒以内)</p>	<p>水勢ランプ全点滅中(2秒以内)に『ビデ』スイッチを5秒以上押す</p> <p>⇒5秒後に『手順3』のようにになります。</p>																																																																		
3	 <p>◎…点灯 ×…消灯</p> <table border="1" data-bbox="726 1881 1508 2128"> <thead> <tr> <th></th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ステップ5</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ステップ4</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>ステップ3</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ステップ2</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ステップ1</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>		標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	ステップ5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	ステップ4	◎	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	ステップ3	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	×	×	ステップ2	◎	×	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	ステップ1	◎	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	<p>現在のリモコンコードが下表のように表示されます。(確認後、『ビデ』スイッチから手を離してかまいません。)</p> <p>【失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。】</p>
	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																																										
ステップ5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×																																																										
ステップ4	◎	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎																																																										
ステップ3	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	×	×																																																										
ステップ2	◎	×	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×																																																										
ステップ1	◎	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎																																																										

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)	
4	 <p>押すごとに切替わる</p>	<p>リモコンの『+』スイッチを押すごとに、特1⇒特2⇒特3⇒…と切り替わります。</p>
5	 <p>押す</p>	<p>設定の切替が完了したら、リモコンの『止』スイッチを押す ⇒設定完了です</p>
6	 <p>コードラベル</p>	<p>切替え後、リモコンをはずして、特殊コードラベルをフレームに貼り付けてください。 (リモコンは吸盤ではずしてください)</p>

※ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。